



令和6年度学校経営方針

1 児童・地域の実態

本校の児童は、学習面では、授業のめあてを考えたり、友達と学び合ったり、学んだことを振り返ったりといった力が伸びてきた。一方で、一度学んだことを忘れてしまったり、基礎的な内容が身に付かなかったりする児童も見られる。また、生活面では、思いやりのある子が多く、優しく人に接することができるが、人前で自分を出す場面では、恥ずかしがり自信のない様子が見られる。そのため、いざとなると力を発揮できない児童がいる。

本校学区は中心に例幣使街道が通り、日立創業者の小平浪平翁生誕の地である。昨年度本校創立150周年を迎え、歴史ある本地区を誇りに思える児童の育成を、地域の方と協力して取り組んでいる。

2 経営理念

教育の目的は児童生徒の人格の完成にある（教育基本法第1条）。小学校においては、義務教育の基礎を施すことを目的とする（学校教育法第29条）。小学校は児童の人格の完成の基礎、すなわち「生きる力」の基礎を培う教育の場である。

本校では、人格の完成の基礎を培う子どもの姿を「よりよい自分になる姿」ととらえ、それを促進する学校経営を

よりよい自分になる学校

の経営理念のもと行っていく。経営理念具現化の進捗状況は随時学校経営戦略会議で確認し、学校経営に反映させていく。

3 教育目標

人格の完成は知・徳・体の調和によって成り立つ。そこで、本校の教育目標を

考える子 明るい子 たくましい子

とする。考える子は知育の面、明るい子は徳育の面、たくましい子は体育の面の目標である。考える子の実現のために知育部、明るい子の実現のために徳育部、たくましい子の実現のために体育部の三指導部会を組織に位置付ける。

4 本年度の目指す児童像

学校経営理念を具現化し、教育目標を実現するために、本年度達成する目指す児童像を三指導部会で設定した。

知育部	自分の考えをもち、意欲的に伝えることができる児童
徳育部	自分で考え、正しく行動できる児童
体育部	進んで健全な体づくりができる児童

本年度中にすべての児童が目指す児童像に近づくよう三指導部会の長を中心に実践を進めていく。目指す児童像実現に向けて、日々の授業や生活における形成的評価を重視し、児童のよさや伸びつつあるところを伸ばす指導を重ねていく。

5 本年度の重点

経営理念「よりよい自分になる学校」を具現化するために、次の5つの重点項目と5つの具体策を定め本年度の学校経営を進めていく。(1)から(3)のうち、○の付いた項目は三指導部会で学期ごとに評価する。

(1) 自分の考えをもち、意欲的に伝えることができる児童の育成（主に知育部が担当）

- 自らの成長に気づく「振り返り」の充実(教材提示の工夫、解決方法の明確化、発問の工夫)
- 話す目的を明確にした「話し合い活動」の工夫
- 基礎的な「ことばの力」を身に付けさせる指導の工夫(「MIM」の実施・活用、業間の時間の活用、図書館教育との連携)
 - ・体験的活動を取り入れ、内発的動機づけを重視する授業の実施
 - ・発達障害等の障害のある児童の思いを大切にされた授業の実現

(2) 自分で考え、正しく行動できる児童の育成（主に徳育部が担当）

- 相手に伝わるあいさつ指導の実践
- 自己指導能力を高める指導の実践(時間・集合・廊下歩行)
- 相手の気持ちを考え行動する児童指導の実践(言葉づかい)
 - ・よりよい将来像の基盤となる基本的自尊感情を育てるキャリア教育の実践
 - ・よりよく生きようとする力を高める道徳教育・人権教育の実践

(3) 進んで健全な体づくりができる児童の育成（主に体育部が担当）

- 教師同士の積極的な情報交換を生かし、多くの児童ができる喜びを味わえる体育授業の展開
- 安全で健康な生活について考え、行動できる保健指導の実施
- 給食をバランスよく食べ、健康の保持増進に努める食育指導の充実
 - ・登下校の歩行や自転車の乗り方の指導など、交通事故を未然に防ぐ指導の徹底
 - ・地震、竜巻、不審者から自分の命を守る、自助力を育てるための避難訓練の継続

(4) 教職員の創意を生かした学校づくりの実現

- ・教職員一人一人が自分の持ち味や専門性を生かす働きがいのある職場の実現
- ・児童が自分らしく活躍できる学級経営や係活動実践の継続
- ・グローバル教育や発達障害児への指導など、新たな教育課題に即した実践の充実
- ・教職員が相互に磨きあう指導案検討会や授業研究会の実施
- ・教育的意義と実践コストのバランスを意識した各種行事の実施

(5) 地域・PTA・都賀地区小中学校と共に歩む一貫教育の継続

- ・学校運営協議会委員やPTAと共に行う学校づくりの実現
- ・読み聞かせボランティアや図書館ボランティア、ミシンボランティアなど、地域の教育力を生かした教育の推進
- ・地域コーディネーターと行う「小平浪平翁学習」の継続と茨城県会瀬小学校との連携
- ・平川駐在所、PTA、栃木警察署スクールサポーターと連携した安全対策の継続
- ・義務教育9年間の連続性を意識した小中一貫教育の実施